Injection for Innovation

つなぎ、はぐくむ、日精のモノづくり

2020年3月期 第1四半期の決算概要について

NISSEI

日精樹脂工業株式會社

2019年8月

2020年3月期第1四半期 業績の概要

2020年3月期第1四半期 連結経営成績

単位：百万円　（ ）内前期比

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり純利益
2020年3月期第1四半期	9,373 (△7.0%)	474 (△40.9%)	606 (△26.1%)	426 (△34.4%)	21.35円
2019年3月期第1四半期	10,078 (8.2%)	802 (△7.7%)	820 (△16.4%)	650 (△6.2%)	32.56円

売上

- 国内は比較的堅調であったものの北米地域およびアジア地域において射出成形機需要が減退したこと等から、売上高は前年同期比7.0%減の93億7千3百万円となった。

利益

- 売上高が伸び悩んだことから、営業利益は前年同期比40.9%減の4億7千4百万円。
- 経常利益は6億6百万円（前年同期比26.1%減）、四半期純利益は4億2千6百万円（同34.4%減）となった。

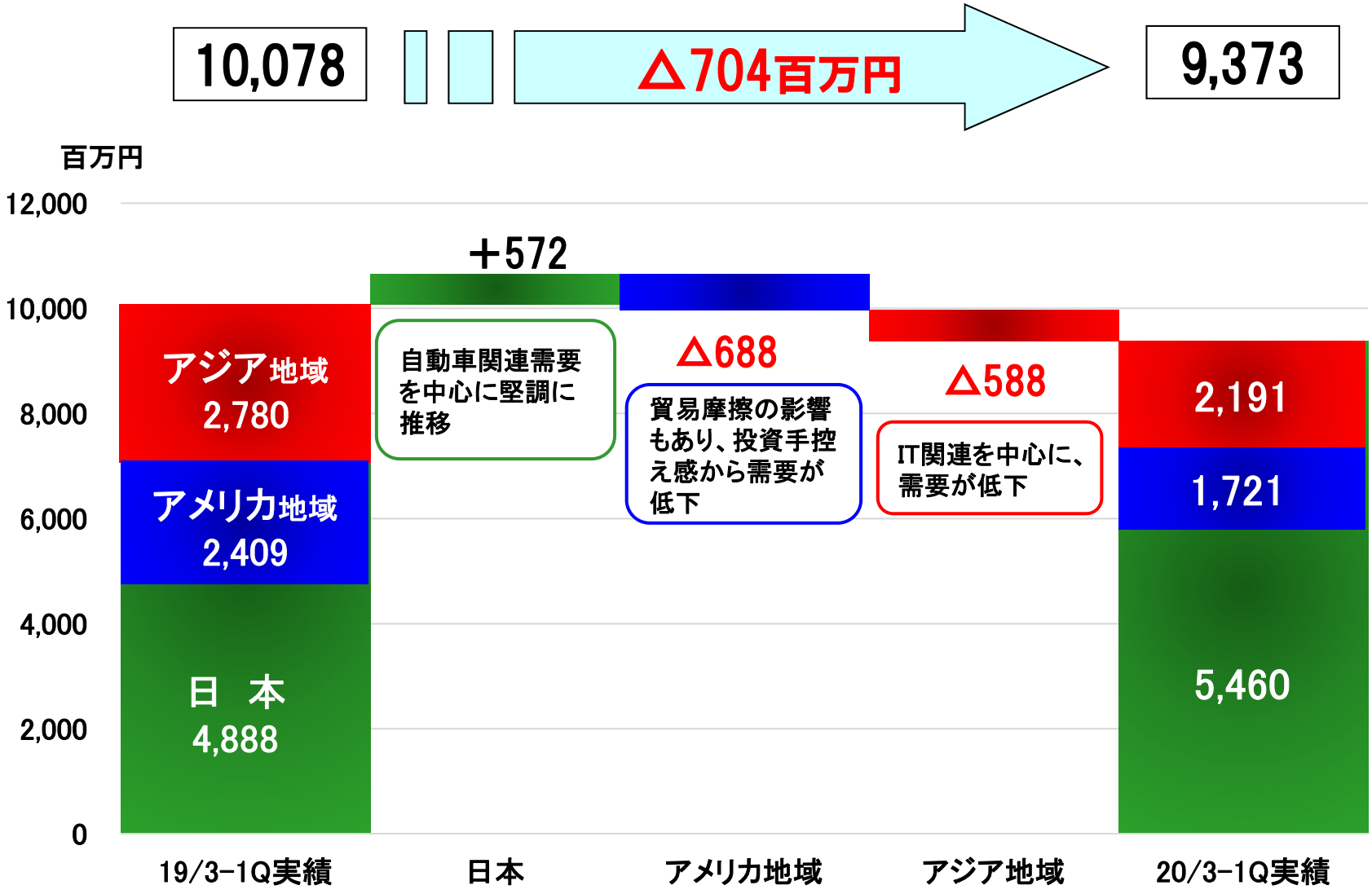
連結業績概要 ［前年同期比及び差異］

単位：百万円、比率％

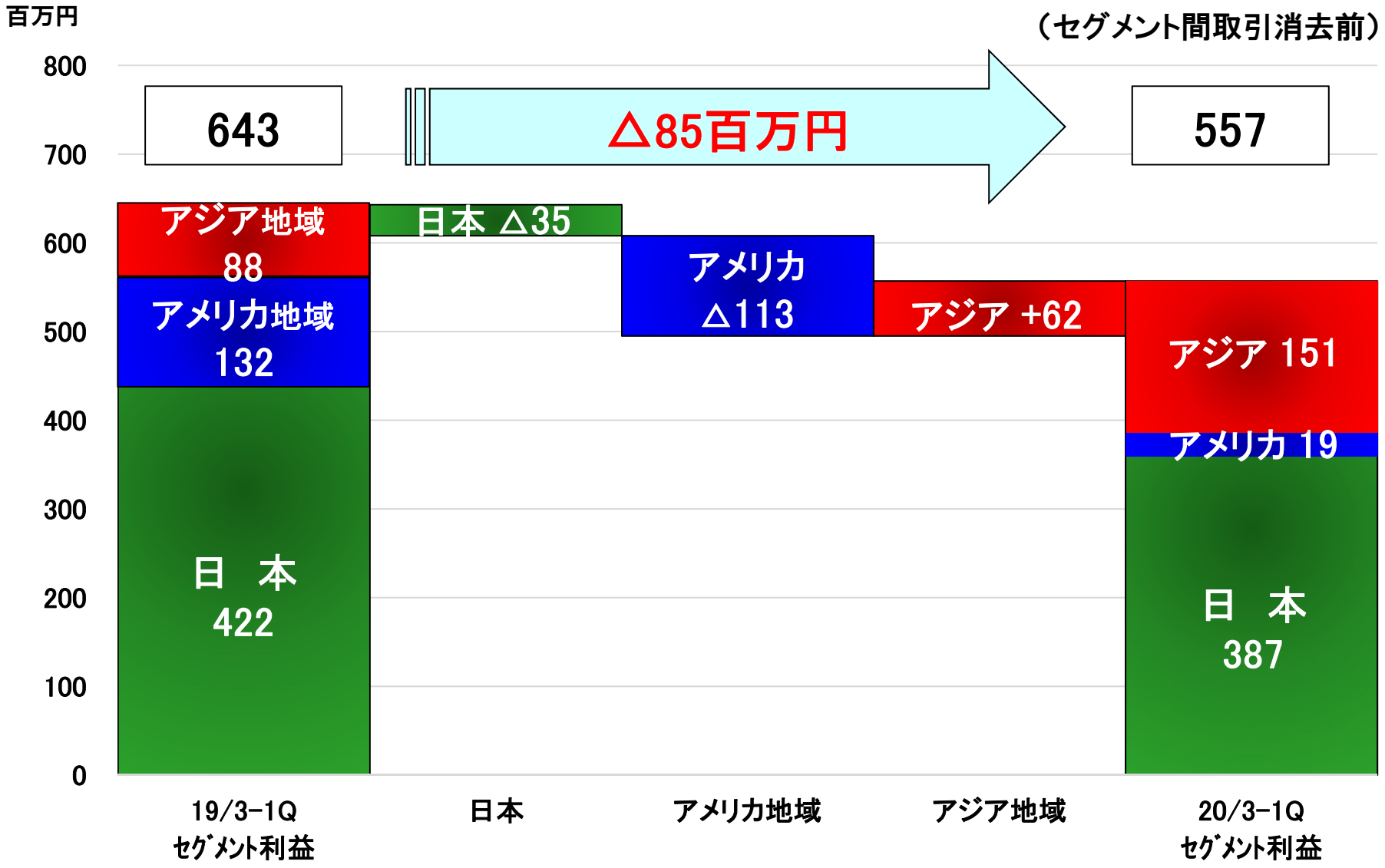
	2019年3月期 1Q実績	2020年3月期 1Q実績	対前期比	
			差異	率
射出成形機	7,793	6,824	△969	△12.4
周辺機器	607	691	83	13.7
部品	1,330	1,291	△38	△2.9
金型・中古機	301	234	△66	△22.2
その他	44	331	286	648.1
売上高合計	10,078	9,373	△704	△7.0
売上総利益	2,942	2,658	△284	△9.7
一般管理販売費	2,140	2,183	43	2.0
営業利益	802	474	△327	△40.9
経常利益	820	606	△213	△26.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	650	426	△224	△34.4
国内販売台数	187	206	19	10.2
輸出販売台数	579	585	6	1.0
販売台数合計	766	792	26	3.4
生産台数合計	753	831	78	10.4

連結売上高(セグメント別)増減 [2019/3期1Q⇒2020/3期1Q]

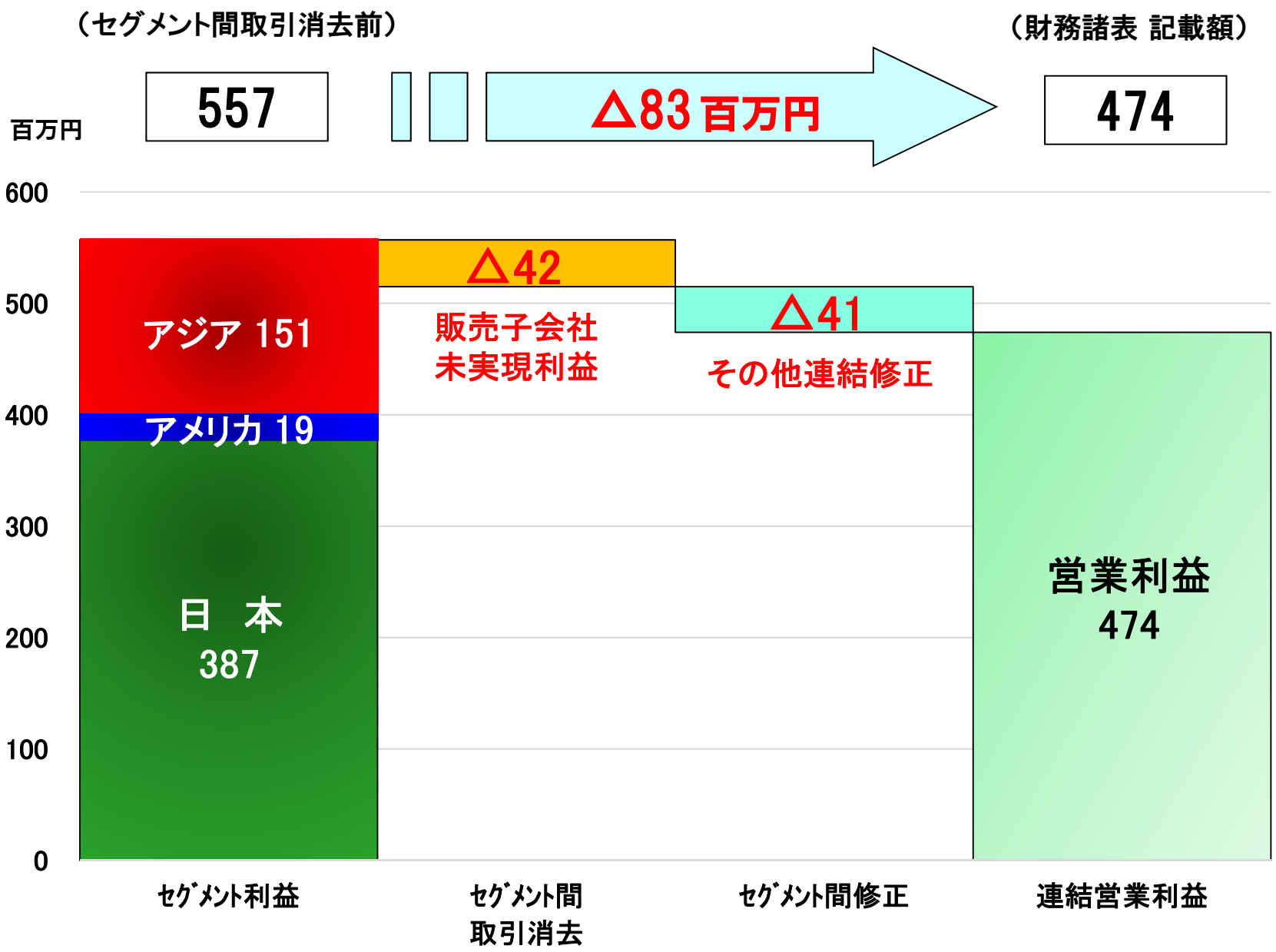
外部顧客への売上高の増減



連結営業利益(セグメント別)増減 [2019/3期1Q⇒2020/3期]



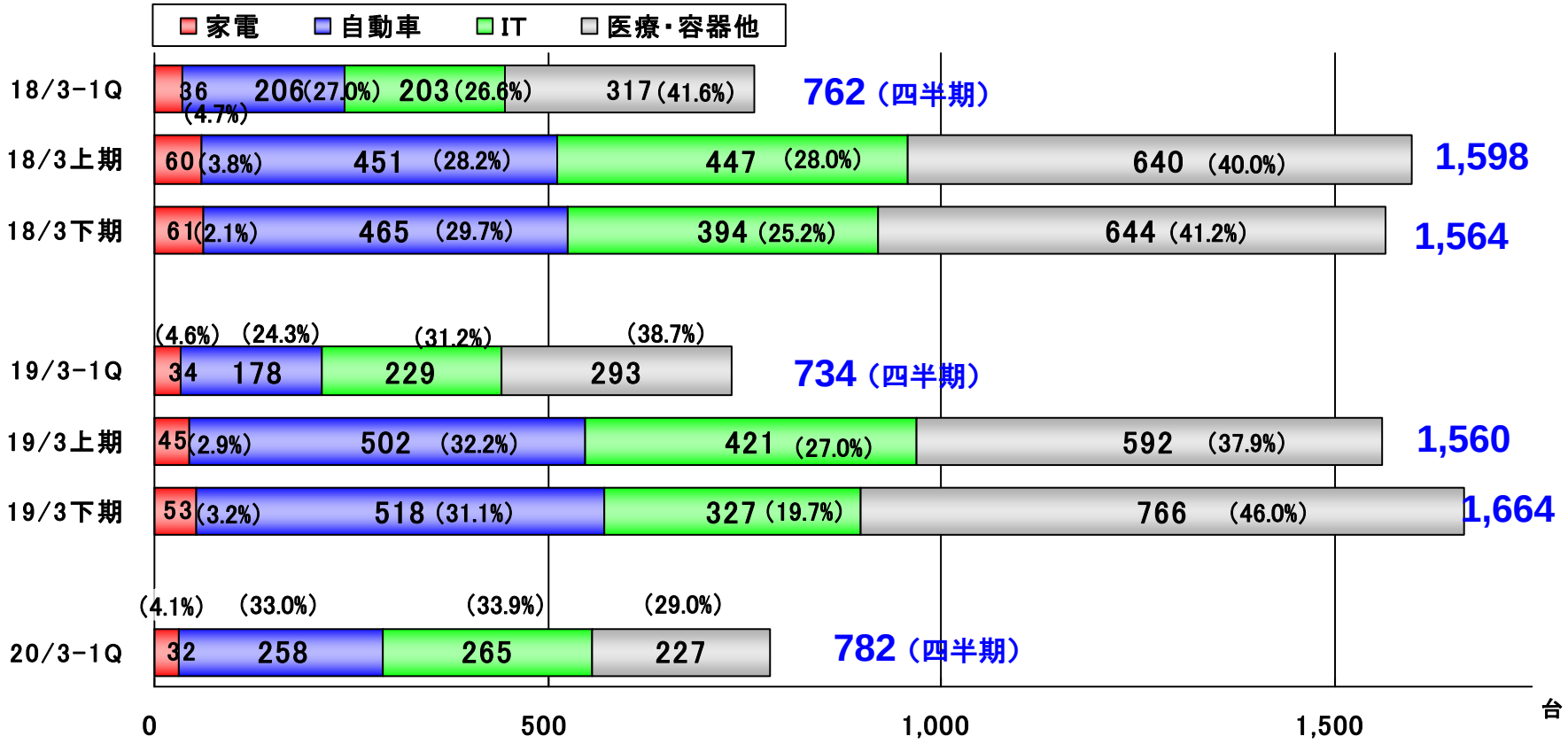
連結営業利益　～セグメント間取引消去



射出成形機の需要先別出荷台数推移(当社)

自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、
出荷の大半を占めている。

2020年3月期 第1四半期
- 自動車…国内・海外とも堅調。
- IT…国内、アジア横這い。
- 医療・容器他…医療機器は国内外とも横這い、容器類は国内やや低調、海外横這い。
- 家電…海外横這い。



第三次中期経営計画ならびに
2020年3月期計画について

経営ミッション・経営理念と経営目標

【経営ミッション】

私たちの経営ミッションはお客様の価値を創造することです。そしてお客様に満足していただき、射出成形技術を通して社会に貢献します。

【経営理念】

世界の日精
プラスチックを通して人間社会を豊かにする

【経営目標】

1. グローバル経営体制の強化

- 連結経営機能を更に強化し、グローバル経営を実践する。
- キャッシュフロー経営を重視し、収益力を更に強化する。
- パートナー企業とのサプライチェーンを強化する。

2. お客様満足度の充実

- グローバルネットワークにより、お客様の満足度充実を図り、企業価値を高める。

3. 環境経営の強化

- グローバル環境経営への対応を図り、省資源・省エネルギー等に配慮した取組みを強化する。

4. グローバル人材の育成と活用

- グローバル人材の育成と活用を図る。
- 社員の働きがいを充実させ、グローバル企業としての価値を高める。

当社が目指す3年後の姿

本3ヵ年(2019年度～2021年度)は、

グローバル経営を進化させ、

グローバル環境への対応を図り、

「フューチャーデザイン2026」※の

達成に向けた体制づくりを行う。

※「フューチャーデザイン2026」:長期的な観点から成長戦略や業績目標を見据え、
取組みを進めている長期的な経営目標

経営方針

1. 真のグローバル経営の強化

- 世界規模で進展する市場変化のなかで、環境経営を強化し、高収益企業としてグローバルな展開を図り、自力成長力を強化する

3. グローバル生産体制の強化

- 4極生産体制により生産能力を増強すると共に、生産技術力と品質保証体制を強化する
- グローバル調達体制の強化と、内製化の推進により更なるコストダウンを図る

経営方針

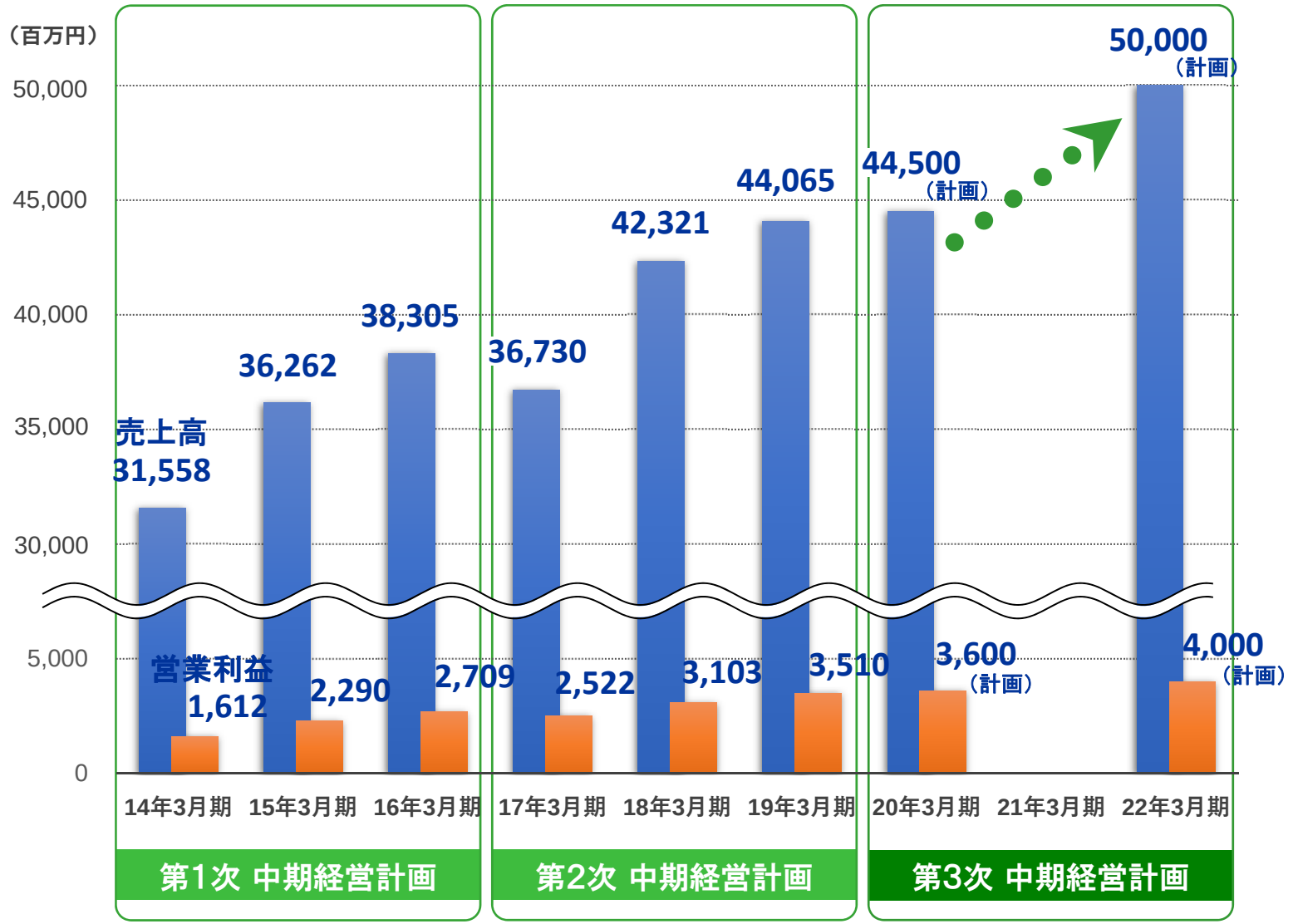
2. グローバル市場への積極的展開による営業強化

- 営業力の強化と新たなビジネスモデルの創出により売上増大を図る
- 革新的な営業戦略により、お客様にご満足頂ける提案型営業を行うとともに、ボーダレス化、IoT化に呼応して、グローバル市場への積極的な展開を図る
- 持続可能な開発目標(SDGs)、成形の理(ことわり)を具現化する製品を計画的に投入する

4. グローバルリスク管理体制の強化

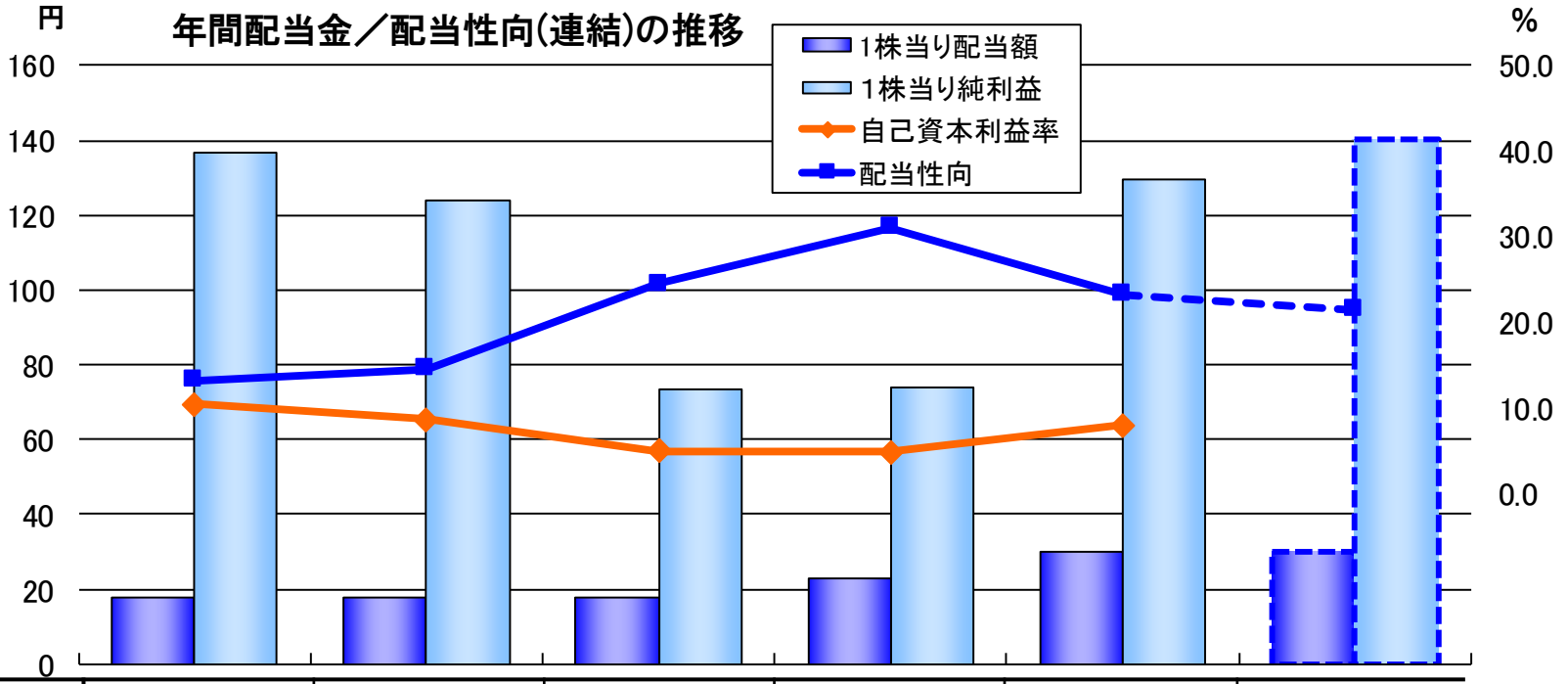
- リーガルリスクに対応した製・販・財戦略とマネジメント体制を強化する
- コーポレートガバナンス、BCP等に対応したマネジメント体制を強化する
- グローバルに対応できる人材育成を図る

連結売上高･営業利益推移 >>> 数値目標



配当について

・2020年3月期 年間配当は、1株について30.00円（中間15.00円、期末15.00円）を予定。



	2015/3月期	2016/3月期	2017/3月期	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期（予想）
1株当り純利益	136.54円	123.77円	73.45円	73.85円	129.56円	140.09円(予)
1株当り配当額	18.00円	18.00円	18.00円	23.00円	30.00円	30.00円(予)
中間配当	5.00円	8.00円	8.00円	13.00円	10.00円	15.00円(予)
期末配当	13.00円	10.00円	10.00円	10.00円	20.00円	15.00円(予)
配当性向	13.2%	14.5%	24.5%	31.1%	23.2%	21.4%(予)
自己資本利益率	10.4%	8.6%	4.9%	4.8%	7.9%	

日精樹脂工業株式會社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。